

STEP 3

TASK WATCH

タスクウォッチの使い方 「測定準備編」

タスクウォッチの設定から取り付けまで



お買い上げありがとうございます。取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

SRIC 株式会社スリック
〒399-0034 長野県松本市野溝東1-2-12
TEL.0263-28-7001 FAX.0263-28-7117
http://www.taskwatch.jp/
support-box@g-men.jp

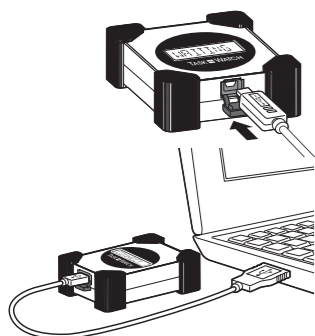


1 タスクウォッチマネージャを起動します。

2 タスクウォッチマネージャの画面が表示されます。



3 パソコンのUSBポートとタスクウォッチのUSBポートを付属のUSBケーブルで接続します。

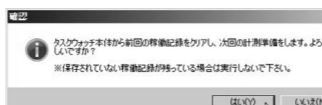


4 タスクウォッチマネージャ画面の左上にあるアイコンが「接続完了」と表示されます。

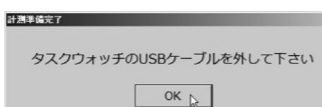


5 タスクウォッチマネージャ画面の右下にある「計測準備」のアイコンをクリックしてください。

計測準備



6 確認画面の「はい(Y)」をクリックしてください。



7 計測準備完了画面の「OK」をクリックしてください。



8 タスクウォッチのUSBケーブルを抜いてください。液晶画面の表示が「WAITING」になっているかを確認してください。

WAITING

液晶画面の表示説明

BATT LOW 電池なし (電池交換が必要です。)

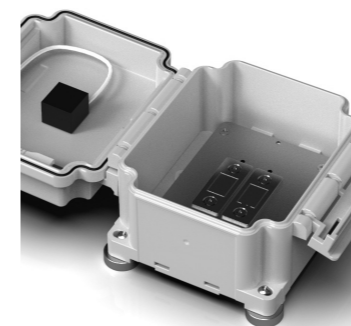
MEM FULL メモリ空きなし (メモリ消去が必要です。)



9 防塵防水ケースを手元に置いてください。セレクトスイッチが「停止」の位置になっているかを確認してください。



10 防塵防水ケースのヒンジのネジをゆるめてから開いてください。



11 防塵防水ケースの上蓋を開いてください。



12 防塵防水ケースの上蓋に付いている操作ケーブルをタスクウォッチのUSBポートに挿入してください。



13 操作ケーブルを挿入できているかを確認してください。



14 防塵防水ケースのマグネット付き底板に設置してください。

マグネット付き底板



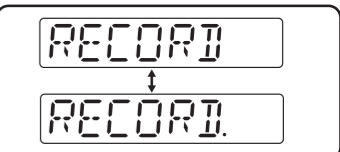
15 防塵防水ケースのセレクトスイッチが「停止」位置になっているかを確認してください。



16 防塵防水ケースのセレクトスイッチを「開始」位置に回してください。



17 タスクウォッチの液晶表示が「RECORD」「RECORD」などに切り替わるかを確認してください。



18 防塵防水ケースの上蓋を閉じてヒンジのネジを締めてください。



19 重機に設置してください。マグネットが装着可能な場所に装着してください。取り付け方向に制限はありません。



20 準備完了。測定開始になりました。

STEP 4

TASK WATCH

タスクウォッチの使い方 「測定記録編」

取り外しから測定記録、終了まで



1 防塵防水ケースを手元に置いてください。

2 セレクトスイッチを「開始」から「停止」に回してください。

ヒンジをゆるめ開けてください。



3 防塵防水ケースの上蓋を開いてください。

4 タスクウォッチの液晶の表示が「WAITING」になっているかを確認してください。

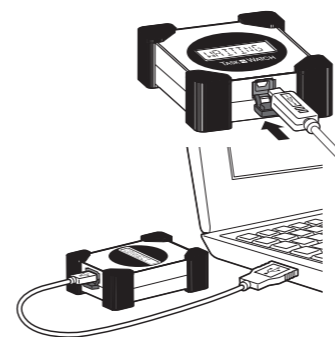
5 タスクウォッチをマグネット付底板から外してください。
親指で持ち上げるようにして外してください。

＊注意！
操作ケーブルを掴んで持ち上げないでください。
破損する恐れがあります。

6 タスクウォッチのUSBポートに接続されている操作ケーブルのコネクタの部分を指でつまんで抜いてください。

7 タスクウォッチマネージャを起動します。

8 タスクウォッチマネージャの画面が表示されます。



9 パソコンのUSBポートとタスクウォッチのUSBポートを付属のUSBケーブルで接続します。

10 タスクウォッチマネージャ画面の左上にあるアイコンが「接続完了」と表示されます。

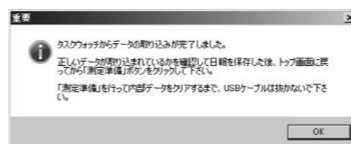


11 接続完了確認後「データ取得日報新規作成」のアイコンをクリックしてください。

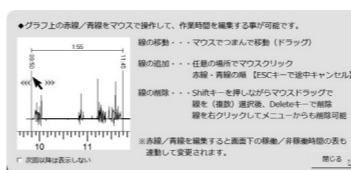
データ取得
日報新規作成



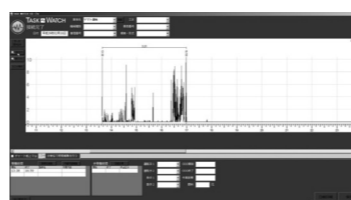
12 タスクウォッチからのデータ読み込みが完了しました。「OK」をクリックしてください。



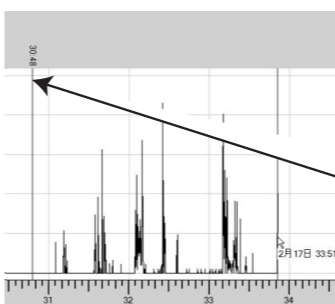
13 グラフ表示作業時間編集画面をよく読んでから閉じてください。



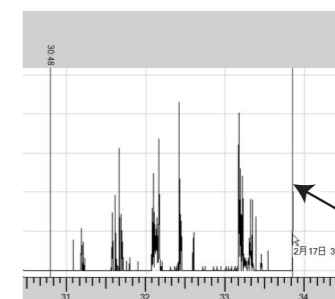
14 任意の稼働波形の開始点をマウスでクリックしてください。



15 赤いマーカーが表示されます。



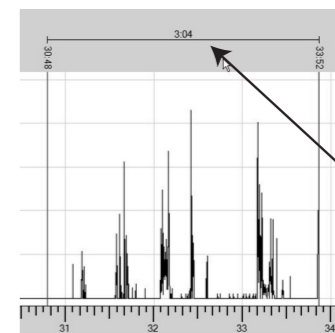
赤いマーカー



16 任意の稼働波形の終点をマウスでクリックしてください。

青いマーカーが表示されます。

青いマーカー



17 選択した稼働波形の開始点から終了点までの稼働時間が表示されます。

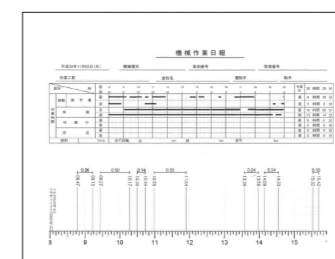
開始点から終了点までの稼働時間



18 稼働時間等 編集後『日報印刷』をクリック



19 『日報印刷』をクリックすると印刷プリンターのダイアログが出ます。プリンターを選択してください。



20 日報印刷のプレビューが表示されたら印刷をクリックしてください。

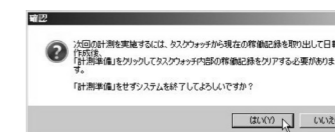
*Microsoft ExcelがインストールされていないPCではこの画面は表示されません。



21 日報印刷をしたデータを『保存して閉じる』をクリックしてスタート画面に戻る。

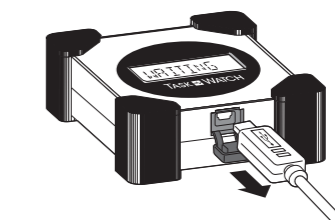


22 『終了』をクリックしてタスクウォッチマネージャを終了する。



23 既に稼働時間を保存したので「はい(Y)」を選択します。

タスクウォッチマネージャが終了します。



24 タスクウォッチのUSBポートからUSBケーブルを抜いてください。これで一連の操作説明は終わりです。再計測する時はSTEP 3に戻ります。